

会議録

- 1 会議の名称 令和6年度 第1回 子ども・子育て会議
- 2 会議日時 令和6年5月17日（金）午後1時30分から午後3時
- 3 開催場所 熊取ふれあいセンター 1階 健康づくり室
- 4 議題 案件1（仮称）熊取町こども計画の策定について
案件2 就学前児童の保護者に対するニーズ調査の結果について
案件3 小学生児童の保護者に対するニーズ調査の結果について
案件4 小学校5年生、中学校2年生に対するアンケート調査の結果について
案件5 若者に対するアンケート調査について
案件6 その他
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者数 1人
- 7 審議等の概要

案件1（仮称）熊取町こども計画の策定について

事務局より、資料1「（仮称）熊取町こども計画策定について」、資料2「（仮称）熊取町こども計画策定にかかるニーズ調査、アンケート調査について」に基づき、説明を行った。

案件2 就学前児童の保護者に対するニーズ調査の結果について

案件3 小学生児童の保護者に対するニーズ調査の結果について

案件4 小学校5年生、中学校2年生に対するアンケート調査の結果について

事務局より、資料3「（仮称）熊取町こども計画策定のためのニーズ調査結果報告書」、資料10「（仮称）熊取町こども計画策定のためのニーズ調査自由意見まとめ」、資料4「（仮称）熊取町こども計画策定のためのアンケート調査結果報告書」、資料11「（仮称）熊取町こども計画策定のためのアンケート調査自由意見まとめ」に基づき、案件2～4について、まとめて説明を行った。

【質疑応答】 ニーズ調査・アンケート調査の結果について

委員：前回より回収率が少し低めとのことだが、新しい試みで、ウェブで実施してなぜ下がってるのか。

事務局：全国的に見てアンケートの回収率は下がる傾向が発生している。理由は色々であるが、働く方が多くなり、忙しくなってきたこと、また5年前より子育てのサービスが大きく改善していることでアンケートを回答する意識が下がっている可能性がある。現に紙の調査で実施して大幅に回収率が下がっている市町村もあり、WEBアンケートなのでこの回収率で収まったとも言える。

委員：前は紙で、保育園の先生などからの声かけもあり、（回答率が）50パーセントまで行ったと思う。

事務局：紙の調査票ではなく、目に見えるアンケート用紙がないということで、回答する意識が薄くなるのではと危惧していた。

保育所や、学童などにポスターを掲示し、職員の方にもお声がけいただき、少しでも回収率上がるよう、できる取り組みをさせていただいた。今後、実施するアンケートも回収率が上がるよう、意識を持ちながら実施したい。

委員：熊取町の特徴はどこにあるのかという分析は今後されるのか。また、アンケート結果は、どのように活かしていくのか。

事務局：細かくカテゴリーを分け、課題を集約して全体的な課題を整理する。

委員：小学校、中学校もどちらにもある、思いや気持ちを測定する設問で、矛盾する選択肢があるのはなぜか。自分の中でしんどいことを抱え込んでしまう傾向をみるためか。

事務局：小5と中2の児童・生徒のアンケートでは、心情的に揺れ動くことを想定しており、2つの設問で矛盾が出るところもある。無理をしながらも、自分がしんどいというところを導き出すために設問を追加している。

案件5 若者に対するアンケート調査について

事務局より、資料5「若者に対するアンケート調査（案）」に基づき、説明を行った。

【質疑応答】若者に対するアンケート調査について

委員：問28の熊取町に若者支援として、どんなことに取り組んでほしいかという問で、金融リテラシー（職業選択や資産形成の方法など）を学べる場という選択肢があればよいと感じた。

事務局：選択肢を増やすことを検討する。

委員：保護者に子どものことを聞いても回答が減っているのに、若者に自分のことを聞いてどれだけ答えてもらえるのか。保護者向けとは違った対策は考えているか。青年団の集まりなどで周知してはどうか。

事務局：事務局もそこは1番心配しており、他の市町村でも回答率が20パーセントに行くか行かないかという状況であることは、調査委託業者に確認している。

先ほどの保護者アンケートで申し上げたように、熊取町は住民の方と距離が近い小さな町なので、駅前へのポスターの掲示やイベントや保育所や役場などにポスターを掲示するなどの案は考えている。また対象を他の調査よりも多く設定をし、3,000人の方に対して調査を行うことで、少しでも回答者数が増えればと考えている。

委員：アンケートの量を見て、スマホで回答するのは、しんどいと感じた。タブレットなどでも回答できるのか。また、先ほどからアンケート回答率が減っているとのことだったが、スポーツ少年団で、色々なスポーツ体験をスタンプラリー形式で体験してもらい、スタンプがたまったら粗品がもらえるような催しをした。回答率を上げるために、粗品等の配布を検討してはどうか。

事務局：タブレットやパソコンからも回答いただける。

委員：回答者に粗品がもらえるのは大変よいと思った。アンケートを回答した方に、特典として、LINEスタンプの配布などがいいかもしれない。

事務局：今年度は予算もなく、粗品などは難しい。

委員：問15について、若者世代の悩みについて網羅、整理されていると感じた。それぞれの悩みを解決する具体的な相談先や相談先のリンクを貼ると分かりやすく、相談しやすい。

事務局：アンケートに相談のリンクなどを加えられるかどうか検討する。

委員：若者アンケートの内容に熊取町の独自性があるのか。

事務局：独自性というのはなかなか難しく、若者に対して現在、熊取町役場がどういった政策を打っているのか少しずつ整理をしている。相談窓口についても、現在は、若者向けではなく、全世代向けで、それぞれの課がご相談を受けてるような状態である。今回のアンケートの結果をいただいて、今後、

熊取町がどのような政策を打っていいのか考えていく。

委員：5ページの家族の看病や介護を問う設問に、「あなたが世話をしている方はどなたですか」という設問を加えれば、ヤングケアラーなのか、ダブルケアなのか分かるので、追加いただければと思う。

事務局：設問を加えることを検討する。

委員：若者の中には結婚している人も含まれていると思う。既婚者と独身者では回答する内容も変わってくると思うので、その違いの分析もできるのか。

委員長：属性情報でクロス分析が可能となっている。

案件6 その他

事務局より関係団体ヒアリングについて説明を行った。

8 審議会の情報

名称	子ども・子育て会議
根拠法令等	子ども・子育て支援法
設置期間	平成25年10月1日～
所掌事項	子ども・子育て支援計画の策定等に関する審議、実施状況及び推進に関すること。
委員数	25人

9 担当課

子育て支援課